

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 2366 号

Intranasal administration of ceramide liposome suppresses IgE- and mast cell-dependent allergic rhinitis by targeting CD300f

セラミドリポソームの鼻腔投与は CD300f を標的として IgE とマスト細胞に依存するアレルギー性鼻炎を抑える

井出 拓磨 (いで たくま)

博士 (医学)

論文審査結果の要旨

本論文は、ブタクサ花粉による急性及び慢性のアレルギー性鼻炎のマウスモデルを利用して抑制型受容体 CD300f が鼻炎の主症状であるくしゃみ、鼻粘膜におけるマスト細胞の脱顆粒と好酸球浸潤を抑えることを明らかにした。また、MCPT5 を発現するマスト細胞特異的に CD300f を欠損させても、マウスのくしゃみ症状や鼻粘膜マスト細胞の脱顆粒と好酸球浸潤が増悪することを示した。従って、主にマスト細胞に発現する CD300f が AR の症状と病態の進行を抑えるうえで重要な働きをすることを明らかにした。さらに、CD300f リガンドであるセラミドのリポソームを鼻腔投与すると、急性及び慢性のアレルギー性鼻炎モデルにおいてくしゃみの症状及び鼻粘膜のマスト細胞の脱顆粒と好酸球浸潤が抑えられることを示した。このように、本論文は、CD300f を標的とするセラミドリポソームの鼻腔投与が AR の新しい治療法として有効であることを始めて明らかにした臨床的に意義ある論文である。

よって、本論文は博士 (医学) の学位を授与するに値するものと判定した。